

議 事 録

会 議 名	令和6年度第1回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和6年6月20日（木）9:30～12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 生田委員、今里委員、古相委員、徳永委員、倉光委員</p> <p><PTA役員> 沖田委員、呉羽委員、勝野委員、榊委員</p> <p><校長会> 河野委員、中村委員、野口委員、福岡委員</p> <p><指導主事等> 中西委員、井手委員、堤委員、衛藤委員、馬場委員、黒松委員、糸原委員、姫島委員、久永委員、古閑委員、土田委員、岡部委員、山口委員、篠塚委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、竹内中学校教育課長、 寺澤小学校教育課係長、山口小学校教育課主任指導主事</p>
議 題	<p>○ 諮問委員委嘱及び役員選出</p> <p>○ 福岡市教科用図書採択の説明 等</p>
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 福岡市教科用図書調査研究委員委嘱</p> <p>3 教育委員会挨拶</p> <p>4 委員長・副委員長選出</p> <p>5 諮問</p> <p>6 議事</p> <p>（1）教科用図書採択の概要説明</p> <p>○ 教科書（教科用図書）について</p> <p>○ 福岡市立義務教育諸学校の教科用図書採択について</p> <p>○ 令和7年度使用教科用図書採択方針について</p> <p>○ 調査研究委員会の進め方について</p> <p><休憩></p> <p>（2）中学校全教科の教科用図書採択説明</p> <p>○ 基礎資料について</p> <p>（3）調査</p> <p>7 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>◇ 委員長、副委員長の選出</p> <p>委員長 生田委員</p> <p>副委員長 香椎第3中 中村委員、 東福岡特支 野口委員</p> <p>3名の承認</p>

◇ 諮問

議事

〔事務局〕 概要説明

- ・教科用図書の定義（文科省HPより）
- ・教科書…中学校 16種目
- ・福岡市教科用図書調査研究委員会規則について
調査研究委員会は研究会作成の基礎資料の妥当性を調査研究
- ・任期は1年間とし過半数の出席が必要 今回6月20日 28名
- ・採択方針について
学習指導要領や福岡市の子ども達の実態、第2次福岡市教育振興基本計画、第2次福岡市教育委員会人権教育推進計画の理念を踏まえ、福岡市が作成
- ・前回採択時から、1人1台端末を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現が示される中、新たな視点で検討する必要性
- ・採択の観点について
教科共通の観点…内容・分量・使用上の便宜等5項目16観点
教科ごとの観点…指導要領の目標・内容等に沿って観点を設定
- ・日程と協議内容
5回予定…次回から中学校の審議2回、特別支援学校の審議1回、最終5回目に報告書（答申）決議

委員長 質疑応答に入る。

徳永委員 各教科共通の観点の（2）エ、多様性とは具体的にどのような点のことを言うのか。

衛藤委員 多様性については、教科書にいろいろな国の方々が登場しており、さまざまな視点からの意見や考えを提示してあることを指す。

徳永委員 時代の流れの中で、何を大事にするかが変わってくるので、自分の考えだけでなくいろいろな考えを参考にしながらできる。

竹内課長 デジタルコンテンツが、今回の新しい教科書には、いろんなところに示されてる。実際の教科書の検定は教科書の中身になるが、教材として、QRコードは子供たちのためになるものがどの教科書に見られる。配置についてもご確認いただきながら見ていただけたらという風に思ってるところである。

委員長 前は一人一台端末がある時代ではなかった。今回は違う。だからそのような点も調査の内容に入っており、大変だとは

	<p>思うが、確認をしていただく。よろしく申し上げます。</p> <p>野口副委 デジタルコンテンツの内容審議はしないでよいか。適切に配置されているか。</p> <p>齊藤部長 基本的には紙ベース。それに付随してデジタルコンテンツがある。コンテンツの良し悪しではなく、紙を効果的にしているかを審議いただきたい。</p> <p>委員長 QRコードの中身までは見ない。</p> <p>徳永委員 研究会ではQRコードを見ているのか。</p> <p>衛藤委員 研究会ではQRコードも見て、何が入っていたり、ここに適切に配置されていたりするかのポイントで見ている。しかし、中身をすべては見ることができないものもある。</p> <p>委員長 まずは、教科書紙で見て、ここに欲しいなというところにコンテンツの配置があるかを確認。第一の目標で確認させていただく。適宜確認することととらえる。</p> <p>古相委員 デジタル教科書は配布されているのか。</p> <p>衛藤委員 かなりの金額だがどうなるか。</p> <p>衛藤委員 デジタル教科書については小5～中3の英語を配布している。中学校については令和4年から英語のデジタルを使っている。次は算数と数学。段階的に考えている。</p> <p>委員長 教科書そのものがデジタル化されたもの。今回は紙で。</p> <p>古相委員 デジタル教科書は子供の手に届くのか</p> <p>竹内課長 英語のみ無料となり届いている。</p> <p>委員長 当面、紙媒体</p> <p>徳永委員 今後紙からデジタルに変わっていくだろう。</p> <p>委員長 教科書としては、紙媒体。デジタルコンテンツについては授業で、効果的に使うもの。すべて逐一内容をチェックするものではない。今回は、紙の教科書。コンテンツは適切に配置されているか。</p> <p>中村副委 基本方針の3点目 本年度最終年度ではないか。令和7年度から第3次になると思うが、おおむね第2次を踏襲したものとして考えてよいか。</p> <p>衛藤委員 本年度が最終年度ではあるが、幅を持たせた形も含んでいる。</p> <p>委員長 まだ第3次は定まっていないので、現状の第2次で進めていく。先も見越しながら。</p> <p>竹内課長 基本計画も勘案していただく、全体としては個別最適な学びなどを総合的に勘案していただくものとして方針として載せているものである。</p>
--	--

委員長 採択は第2次基本振興基本計画に基づきながら、最新の事情も踏まえて取り組んで調査していくということで理解をさせていただきました。

野口副委 今回の調査研究委員会の立ち位置は、所見欄、○、◎の整合性を確認するととらえていくでよいか。比較するものではないでよいか。

衛藤委員 基礎資料を基に、説明をしていく。それを基に選定をしていただく。教科書会社の比較ではなく、子供たちが使いやすい教科書を考えていくものである。

委員長 会社の比較ではなく、その会社の教科書の特徴を見ていく。

休憩

◇ 基礎資料について

衛藤委員 基礎資料は、先ほどご説明した採択方針における観点について研究会が◎十分に満足できる、○満足できる、△課題が残るの3段階で評価し所見をまとめたもの。

国語を例にしながら基本的な構成について確認する。

文部科学省の教科書目録の掲載順に教科書会社ごとの教科共通の観点、教科の観点が示されている。

現時点で一番右の「調査研究委員会」評価は空欄。今後、研究会の評価が妥当であるか、調査や協議を経て、調査研究委員会としても評価を加えていただき、教育委員会へ答申する運びとなる。

委員長 ◎の整合性、△についても妥当であるか。審議事項である。

古相委員 国語の基礎資料に◎、○で違う点があるのではないか。

中尾委員 国語の資料が間違っており、A3の様式が正しい。

次回は差し替えて審議していただく。

委員長 前半にもあったが横に並べると比較になるのではないかとあったが、基本的には縦で、見ていく。

4ウについてもあくまで、デジタルコンテンツが適切に配置されているか。

次回以降から各教科で説明する。

◇ 基礎資料の調査

議 事 録

会 議 名	令和6年度第2回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和6年6月25日（火）9:30～12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 生田委員、今里委員</p> <p><PTA役員> 沖田委員、呉羽委員、勝野委員、光安委員、榊委員</p> <p><校長会> 河野委員、中村委員、野口委員、福岡委員</p> <p><指導主事等> 中西委員、井手委員、堤委員、衛藤委員、馬場委員、黒松委員、糸原委員、姫島委員、久永委員、古閑委員、土田委員、岡部委員、山口委員、篠塚委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員> 中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、竹内中学校教育課長、谷口中学校教育課係長、寺澤小学校教育課係長、瀧澤小学校教育課主任指導主事</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）審議の流れ</p> <p>（2）各教科の審議</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 国語</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 書写</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 理科</p> <p style="padding-left: 20px;"><休憩></p> <p style="padding-left: 20px;">○ 美術</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 保健体育</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 技術</p> <p style="padding-left: 20px;">○ 家庭</p> <p>3 連絡</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>（1）審議の流れ</p> <p>〔事務局〕 本日は、各教科の基礎資料について説明する。基礎資料は、各教科共通の観点と各教科の観点を記している。重点となる観点を中心に説明する。重点となる観点は、各教科共通の観点では3点、各教科の観点では2～3点設定している。</p> <p>（2）各教科の審議</p>

	<p>○ 国語</p> <p>勝野委員 可能であれば、それぞれの教科書で授業を受けてみたい。今の説明では光村図書が良いように聞こえた。</p> <p>野口委員 4社の見方を教えてほしい。相対評価ではなく絶対評価。2ウについて、光村図書はよい。残り2社は、記述がない。</p> <p>中西委員 学習する内容と学習の流れが見開きで提示されているところを◎としている。</p> <p>委員長 4社の比較で見るのではなく、1社の中で観点ごとに一定の基準を超えているものについて、◎としている。同じような書きぶりのものもあるが、その内容が一定以上あるものに、◎が記されている。</p> <p>今里委員 見開きで構成されているのは、教師が指導しやすくなる。よりよい指導につながると考える。</p> <p>委員長 教師、学習者、それぞれの使いやすさが評価につながる。</p> <p>榊委員 思考法のところがよい。学ばせ方が指導要領によって変わってきているが、生徒が気づく、実感することが大事。指導方法が変わってきているところで、教科書活用について、教育委員会の取り組みはあるか。</p> <p>中西委員 指導方法がバージョンアップする中、研修等もバージョンアップし、新しい学びの在り方について、バージョンアップしていったらいい。</p> <p>委員長 教科書のアップデートとともに、教師のアップデートしている。</p> <p>国語、基礎資料通りの評価でいく。</p> <p>○ 書写</p> <p>呉羽委員 左利きの指導が変わってきている。内容も変わってきている。ぜひ、授業を受けてみたい。</p> <p>委員長 2エの個に応じた指導の観点から、左利きの生徒にも対応していることがわかる。また、授業を受けることが楽しみになる内容となっている。</p> <p>河野委員 2エをよく読むと、東京書籍においては写真がないため、○になっているのか。4社の比較で見えてしまうが、それでよいか。</p> <p>事務局 それぞれの教科書ごとに力を入れているところ、特徴となるところを観ていただきたい。</p> <p>吉村委員 2エについて、2次元コードで動画を示すだけでなく、画像で教科書に掲載されているという点で◎としている。</p>
--	--

委員長	基本的に○か×か。○の中で、ある一定の水準以上であれば、◎としている。教科の中で一定していればよい。今後も基準をそろえながら、審議していく。
野口委員	所見で判断していくが、特徴を強調してもらうほうが、委員としても評価しやすい。光村と三省堂の表記が同じような内容で◎と○となっている。◎の内容、基準が明確になるよう表記していただきたい。
委員長	審議する中で、基準が見え始めてきたところもあるので、◎にした理由を明記するよう改善してほしい。
	○ 理科
河野委員	所見の表記だけで、◎と○を判断していくのは難しい。特徴が見えにくい。
衛藤委員	理科の見方・考え方をストレートに伝えている点を加えたい。
委員長	◎と○の違いがわかりやすいように表記している。
野口委員	1の観点で、キャラクターを使っていることが挙げられているが、どこの会社もキャラクターを使っている。文章量にも違いがみられない。 所見が表記の内容がそれぞれに違うから調査が良くされていることがわかるが、それ故に◎と○の違いが分かりにくくなっている。
衛藤委員	表記の仕方を工夫していく。
委員長	国語も理科も、生徒の理解度に応じたよさを明記されている。
野口委員	個々の教科書のよさがわかりやすいが、福岡市が目指している教育の方向性、重点等の整合性がわからないと判断が難しい。
委員長	書かれている観点から判断するために、福岡市の教育の方向性との兼ね合いなどから加筆が必要。
光安委員	2次元コードから動画を見られるようになってきていることがよいことになっているが、動画の内容等は確認されているか。
委員長	動画の内容の確認・検討までは、この委員会では審議しない。
光安委員	将来的に、「授業までに動画を見ておきなさい」という指導になりかねない。
委員長	今後、教科書が進化していく中で、教科書や教師の役割についても検討していく必要がある。

光安委員	個人的には、紙がよい。教科書がよくなりすぎると、教師の個性を出しにくくなるのではないか。
野口委員	共通の観点2アでは、2次元コードが決め手となっているように感じる。デジタルコンテンツの観点は、4のみで論じられるべき。
委員長	文言については、指摘を受けて修正していく。
○ 美術	
中尾委員	観点4ウ、いずれも◎。デジタルコンテンツ以外でいくと、どこで評価されたか。
黒松委員	開隆堂は、デジタルコンテンツの内容が紙面で分かるようになっていること。光村図書は、鑑賞の仕方、その指導が効果的になるものが配置されている。
中尾委員	観点に「効果的に」とあるが、その水準をどれだけ超えているかがわかるように表記してほしい。
委員長	◎の理由がわかる表記の工夫をする。
中村委員	生徒にとって美術の教科書は、とてもわくわくするもの。どの会社も、育成する資質能力を明確にして作成しているのがわかる。所見の表記を評価の意味がわかりやすくなるようにしてほしい。
委員長	◎の説明を付加修正する必要はあるが、評価自体は提案通りでよい。
○ 保健体育	
沖田委員	どの教科書もすばらしい。進化している。子どもたちが理解できるものが重要。保護者は教えきれない。
委員長	個別最適の視点から、学習者が自ら学べること、教師も指導しやすいものがよい。 共通2、教科4の観点が重なるところが多い。どちらかが◎で、どちらかが○になっているものがある。
梶原委員	観点が異なるものには、重なるところもあるが、保健体育として課題解決を進めていける、学習者中心であるというところから、◎としている。
委員長	共通2、教科4には、教科として深まりがあるものについては、表記を工夫する必要がある。
中村委員	◎と同様に△となる理由、水準も明確にしておかなければいけない。 共通2ア、がんについての学習場面では、他教科との関連を

	<p>明記していないものが1社だけではなさそうである。</p> <p>糸原委員 がんの学習については、指摘の通りだが、教科書全体としてみたときの評価である。</p> <p>委員長 △の所見については、○のようにもとらえられるものがある。△の説明についても整理をお願いする。</p> <p>○ 技術</p> <p>榊委員 観点2エ、所見の内容の違いが分かりにくい、評価は◎と○がわかれている。差別化できる表現にしてほしい。</p> <p>姫島委員 経験のない教師も指導できる、経験の少ない生徒も学習できるという点を評価した。</p> <p>福岡委員 教師の力量に応じた教科書がよいという評価なのか。</p> <p>姫島委員 基本的には学習者である生徒に応じたものを評価。</p> <p>福岡委員 学校の教育環境に応じているのも評価するのか。</p> <p>姫島委員 生徒の実態に応じているかで判断している。</p> <p>委員長 生徒の習熟状況に応じて教科書を使用していけるかを判断・評価していく。</p> <p>野口委員 技術2で△になった理由がわかりにくい。</p> <p>姫島委員 製作のを中心にしていて、製作後のことが少なかったため、△としている。</p> <p>委員長 文言整理は必要だが、評価は提案通り。</p> <p>○ 家庭</p> <p>中村委員 共通観点3の△、本文でなく資料が多いため、△となっているのか。</p> <p>久永委員 教師が資料の取捨選択が難しいという点から△とした。</p> <p>中村委員 教師が使いづらいからというのは、どうなのか。</p> <p>野口委員 教師の使い方と生徒の使い勝手、生徒が資料を使いづらいのならば△だが、教師が使いづらいからというのだけでは、どうなのか。教師の使い勝手も大切だが。</p> <p>委員長 教師、生徒の両方の視点が必要だが、表記に偏りがあるのは整理が必要。</p> <p>委員長 ◎については提案通り。△については、他の教科等も含め、再度検討する。</p> <p>以上で本日の議事を終了する。</p>
--	--

議 事 録

会議名	令和6年度第3回福岡市教科用図書調査研究委員会
日時	令和6年6月27日(木) 9:30~12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 生田委員、徳永委員、倉光委員</p> <p><PTA役員> 沖田委員、光安委員、榊委員</p> <p><校長会> 河野委員、中村委員、福岡委員</p> <p><指導主事等> 中西委員、井手委員、堤委員、衛藤委員、馬場委員、黒松委員、糸原委員、姫島委員、久永委員、古閑委員、土田委員、岡部委員、山口委員、篠塚委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員>中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、竹内中学校教育課長、谷口中学校教育課係長、寺澤小学校教育課係長、古井小学校教育課主任指導主事</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>(1) 審議の流れ</p> <p>(2) 各教科の審議</p> <p>○ 社会・地理</p> <p>○ 社会・歴史</p> <p>○ 社会・公民</p> <p>○ 地図</p> <p><休憩></p> <p>○ 数学</p> <p>○ 音楽</p> <p>○ 外国語</p> <p>○ 道徳</p> <p>3 連絡</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>(1) 審議の流れ</p> <p>[事務局] 第2回目のときに所見の文言の修正のご意見をいただいた。今回も原案の形で提案はさせていただく。またご意見あればいただきたい。</p> <p>(2) 各教科の審議</p> <p>○社会・地理</p> <p>委員長 社会の地理的分野の教科書の基礎資料について、共通の観点2のウとエ、4のウ、デジタルコンテンツの観点が目しているところだ。◎をつけている評価が正しいかご意見を頂戴したい。</p> <p>徳永委員 内容のよさで評価をしないということだったが、配置ではどう</p>

	<p>なのか。</p> <p>井手委員 配置では○になる。</p> <p>委員長 デジタルコンテンツの配置で帝国書院は○になるので修正確認になる。</p> <p>福岡委員 QRコードが多ければいいということではないですよ。質と量のバランスはどうなのか</p> <p>委員長 量は今回どこも多くなってきているので量より質ではないか。導入、展開、まとめの段階でQRコードの配置を意図的にしているのか。</p> <p>動画が美しい、面白い内容の2点から考えられる。意識してQRコードが作られているのかは教科の切り口によってちがうのではないか。</p> <p>教科の中で一貫していただければいいのではないか。地理では、導入、まとめの段階でQRコードがあり、質の切り口での提案があった。</p> <p>質的な中身についてや◎について何かご質問、意見はないか。</p> <p>榊委員 帝国書院のSDGsについてを口頭で説明があったので、表記もした方がいいのではないか。</p> <p>委員長 口頭で説明した内容を盛り込んでいく。</p> <p>中村委員 評価の観点の1で1社だけ○のコメントを見ると、この文章で◎なのが分かりづらい。</p> <p>河野委員 2枚目◎が多い。観点としてできれば○。◎は秀でているからだろう。◎を少しつけすぎているのではないか。</p> <p>◎をつける基準を教えてください。</p> <p>井手委員 文言修正をする。</p> <p>どの会社もアップデートしている。見通しが持ちやすい、思考が広がったり深められたりする内容にどの会社もなっている。1つだけ○が伝わるように再度整理する。</p> <p>委員長 ◎の基準はそろえようがないので社会の先生たちはかなりよくなっているというところをつけているのだろう。</p> <p>他社との比較はしないとしているので◎と評価される内容であるかをみるようにして文言を整える。</p> <p>河野委員 目からの情報と聞く情報が違い、口頭説明がわかりやすかった。なのでそれを書いてもらう方がいい。</p> <p>委員長 強調点が明らかにわかりやすいように書いていただくとよい。</p> <p>◎の観点4のウについては◎を○。</p> <p>文言について◎の根拠がわかりやすいように加筆修正をするように。地理領域はこれで終わる。</p>
	<p>○社会・歴史</p> <p>委員長 審議にうつる。</p> <p>榊委員 共通の観点エ、令和書籍について</p> <p>難易度が高かったら知識が身につくというのはどういうことか</p> <p>井手委員 中学生の発達段階において学習指導要領に示されているものよ</p>

	り発展的な内容が示されていた。興味がある子はプラスになるかとは思いますが逆に理解が難しい子にとっては配慮が必要であると感じた。
委員長	専門的な部分が多くなると難しくなるということですね。
光安委員	共通の観点のイの自由社について○になっている、東京書籍は観点から外れているような気がする。自由社が○なのは分かるが、東京書籍はどのことかわからない。
井手委員	体験活動とは社会科の教科書には全体的に少ない。ここに当てはまる観点として情報を収集したり活用したりする部分で防災等の配慮がみられたというところでの所見である。
光安委員	それだと自由社が○になるのも違うのではないか。全体的に少ないのであれば自由社だけそれを理由に△なのは違うのではないか。
井手委員	いただいたご意見をもとに加味する。
委員長	観点オは社会歴史分野では体験活動はほとんどないのではないからあえて△をつける必要がないのではないかという意見。再度検討してもらおう。
中尾委員	場面が想定されないのであれば評価の観点から外すこともできるのではないか。検討いただきたい。
委員長	評価項目としては妥当ではないので2のオを歴史分野から評価項目を外すのも検討してまた提案いただきたい。
中村委員	文末に「感じる」という表現がある。共通のエの令和書籍の△がついている文末に「感じる」とある。「感じる」をあげるのは不適切ではないか。
井手委員	研究会としてそろえないといけない。
中村委員	不足していると表記するのに不安があったのか。
出井委員	不安があったということではない。
委員長	表記に関して研究会では客観的に記述しなければならないので、文言の整理をするように。 2のオは歴史分野に合わないのであれば評価しないということも可能ではないか。また読み手にとって誤解を招く表記もあるのでそれは整理するように。◎については認めていただけるか。
	○社会・公民
委員長	審議にうつる。
徳永委員	現代社会の見方・考え方とは何か。
井手委員	学習指導要領の公民的分野の目標によりよい社会になるよう政治経済など様々な現代の社会を表している。
中村委員	共通の観点のエに社会科教育、主権者教育の文言がないので口頭で説明したものを文章に盛り込んで欲しい。
委員長	加筆・修正含めて整理するように。 ◎を中心にみていただいた。その評価は妥当か。 記述についてはより分かりやすく整理して◎が分かるように最

最終的にわかりやすいように修正を行う。
公民的分野はこれで終わる。

○地図

委員長 地図は共通の観点はなく地図の5つの観点からであった。
意見を頂戴する。

徳永委員 帝国書院の上3つの評価が高いことがよく分かった。

委員長 特徴がよく分かるように記述されている。
地図について◎について認めていただけるか。

<休憩>

○数学

委員長 審議にうつる。

榊委員長 全体として、◎は口頭聞くと納得できるが文章をみるとわかりにくいので、口頭で話したことも文章に入れていただきたい。

委員長 ◎の根拠の文章ということ。

徳永委員 同じ分量で書く配慮もされているのではないかと。◎のところは文章の量が増えてもいいのではないかと。その方が理解が進む。
委員長 整った資料にはなっているが、◎のところを書き加えていいのではないかと。

基本的には○であるということは確認されて、各出版社において○は確認されてある。その中で特出しているのが◎なので。

河野委員 共通の観点4のウ 横並びに見ると文章がそんなに変わらない。東京書籍は◎になっている。コンテンツの中身には触れないと言っているが中身に触れることになる。ここから比較をするのであれば、丁寧にかかれてあるや量が多くちりばめられてあるなどの評価になるのではないかと。しかし、ここでは中身の評価になるのではないかと。

中身ではない評価をするのは難しいのではないかと。

委員長 4のウについてはどのように整理したのか。

堤委員 生徒が実際使ったらどうなのかという生徒目線で確かめている。

委員長 調査研究委員会では中身は審査しない、またコンテンツの中身には踏み込まないと話していましたが、研究会ではその話にはなっていなかったのが教科では一貫しているということになる。

数学では学習者が使いやすいという視点で調査しており、視点が2種類あって中身そのものというよりはそのQRコードに意図があるのではないかと。

今回は操作させたいときにQRコードが入っていたという操作したり量的にとらえるということを数学科では大事にしてあると思う。操作できるというところに価値を置かれたのではないかと。他にもあると価値がなくなるので他のも確認いただいて検

	<p>討してほしい。研究会では具体的に調査してもらったのではないかと思う。</p> <p>その場面において配置が適切になされているなどもあるかどうかを確認していただきたい。</p>
中村委員	<p>数学の観点の9、そろばんや電卓、コンピュータやネットワークについての表記が1人1台端末になっている。</p> <p>共通項目の4のウと同じ表記ではないか。</p> <p>観点が一緒であれば、◎が増えるのではないか。</p>
委員長	<p>4のウと同じ観点を評価を数学の観点にもあるのではないかと</p>
堤委員	<p>同じであるため、整合性を整えないといけないのではないかと いうことで同じにしていた。</p>
委員長	<p>同じ観点では◎を2回つける形になる。</p> <p>評価を繰り返されるのは望まない。</p>
中村委員	<p>数学の観点は学習の効果を高めることができるかということが 必要になるのではないか。</p>
委員長	<p>◎のところは学習効果を意識した表記にはなっているのではない か。</p>
堤委員	<p>記述が似ているというところは修正をする。</p> <p>共通の方が配置そのものであり、ただ配置されているだけでなく 使いやすいかどうかを調査した。</p> <p>数学はその配置によってどのような効果があるかということ を調査したが文言にない。</p>
委員長	<p>先ほど社会で評価しない観点は削除。</p> <p>数学は同じ観点であってなじまないということにもなる。</p> <p>数学の学習効果を高めるということを表す。</p> <p>共通は配置。数学は記述できるのであればよいのではないか。 今のままでは数学の効果としては読み取れないので記述が可能 であれば修正する。数学の観点になるので検討していただきたい。</p>
河野委員	<p>数学科の観点はそろばん、電卓、共通は1人1台端末のことが 書かれてある。</p> <p>数学科の観点と共通の部分は書かれているものが違うので同じ ということではないのか。</p>
堤委員	<p>そろばんは授業で使わない。端末で代用できるものは端末で代 用している。電卓自体の使い方の授業ではない。データ量が多 いときに使う場合がある。</p> <p>使い方の授業ではなく、それを使って集計したりすることがメ インである。</p>
福岡委員	<p>数学科の観点は、デジタルコンテンツに書かれてあることがメ インになっている。そもそも書かれてあることの守備範囲が違 うのではないか。</p>
堤委員	<p>教科書にあるデジタルコンテンツについて書いてあるのではなく、 教科書の同じ観点なんじゃないのという議論にも研究会にも なった。</p>

	<p>委員長 同じ観点だと思ったので記述が寄せてあるので内容についての言及に寄せていただいた方がいいのではないか。 観点が違うという立ち位置で確認。 内容面について記述を整理してもらい、それで◎なのかどうか。 観点は別のものだということで内容になっているということについて着眼していただいて記述していただくよう修正してほしい。 基本的に◎を確認いただいたということによろしいか。文言修正そして観点は検討をする。</p> <p>○音楽</p> <p>委員長 音楽・音楽器楽の両方の審議を始める。</p> <p>徳永委員 二次元コードの配置が過不足なく良かった。 2社の優位性という言葉がでていたのが気になる。</p> <p>中村委員 共通の観点4のウの説明を記述にも入れるといいのではないか。◎の部分の文章の確認を。</p> <p>委員長 ◎の理由を丁寧に書くようにというのが議論になっているのでその点に気を付けて整理するように。 記述についていくつか指摘があった。 ◎のところは認めていただけか。 記述を確認して最終に。</p> <p>以上で本日の議事を終了する。</p>
--	---

議 事 録

会 議 名	令和6年度 第4回福岡市教科用図書調査研究委員会
日 時	令和6年7月2日（火）9:30～12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 生田委員、今里委員、古相委員</p> <p><PTA役員> 呉羽委員、勝野委員、榊委員</p> <p><校長会> 河野委員、中村委員、野口委員</p> <p><指導主事等> 中西委員、井手委員、堤委員、衛藤委員、馬場委員、黒松委員、萩原委員、姫島委員、久永委員、古閑委員、土田委員、岡部委員、山口委員、篠塚委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職職員> 中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、竹内中学校教育課長、谷口中学校教育課係長、寺澤小学校教育課係長 松本発達教育センター所長、山本発達教育センター指導係長</p>
議 題	○ 特別支援学級・特別支援学校で使用する一般図書についての審議
会次第	<p>1 開会のことば</p> <p>2 議事</p> <p>（1）一般図書の採択について ※質疑応答も含む</p> <p>（2）基礎資料の説明 ※質疑応答も含む</p> <p>（3）一般図書の調査</p> <p>（4）審議</p> <p>（5）連絡</p> <p>3 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p style="font-size: 2em;">非公開</p>

非公開

非公開

非公開

議 事 録

会議名	令和6年度第5回福岡市教科用図書調査研究委員会
日時	令和6年7月9日(火) 9:30~12:00
開催場所	福岡市発達教育センター 第1研修室
出席者	<p>調査研究委員</p> <p><学識経験者> 生田委員、徳永委員、今里委員、岡村委員 <PTA役員> 沖田委員、光安委員、勝野委員、呉羽委員 <校長会> 河野委員、中村委員、野口委員 <指導主事等> 中西委員、井手委員、堤委員、衛藤委員、馬場委員、黒松委員、糸原委員、姫島委員、久永委員、古閑委員、土田委員、岡部委員、山口委員、篠塚委員</p> <p><教育委員会事務局部長級職員>中尾委員</p> <p>事務局：齊藤指導部長、寺澤小学校教育課係長、山口小学校教育課主任指導主事</p>
議 題	○ 基礎資料説明及び審議
	<p>1 開会のことば</p> <p>2 審議</p> <p>(1) 審議</p> <p>○ 外国語</p> <p>○ 道徳</p> <p>(2) 中学校全教科 調査研究報告書(答申)案</p> <p>(3) 一般図書 調査研究報告書(答申)案 (非公開)</p> <p>3 お礼のことば</p> <p>4 閉会のことば</p>
主な意見・協議結果等 主な協議	<p>(1) 審議の流れ</p> <p>事務局 審議の流れ確認 前回同様に、重点となる観点を中心に説明する。 外国語、道徳の協議の後、答申の決議までお願いします。</p> <p>(2) 各教科の審議</p> <p>○外国語</p> <p>古閑委員 東京書籍は、単元を貫く内容になっている。開隆堂は、各単元末にリテリング(自分の言葉で言い換える活動)があり、生徒が取り組みやすい。以上の点で2社は◎である。観点2エでは、光村は巻末ガイドが丁寧に説明してある。観点4ウは、各社ともアニメーション等で見やすい。特に三省堂は、AIの発問チェックがある。教育出版は、生徒が発音を何度も確かめることができる。以上の点で、◎である。外国語2では、教育出版は、丁寧だが、使用場面や概念にあまり触れていないため△である。以上で報告を終わる。</p> <p>委員長 外国語の教科書の基礎資料について、ご意見を頂戴したい。</p>

中村委員	共通4ウについて、◎の説明がデジタル教科書についてである。他教科は、紙で、デジタルは適切な場所に配置されているかの確認だったが、外国語は内容か？
古閑委員	外国語は、1単元ではあるが、デジタルの内容も見た。
徳永委員	発音の機能が付いている点が素晴らしいのか？
古閑委員	研究会でも、発音を自分のペースで確認できる点は各社よい。その中でも2社はAIでよりよい。英語のデジタルコンテンツについては、文科省からも一事項とすると周知されている。
光安委員	教育出版は、読み上げる音が、英文の文字になるのか。
古閑委員	読み上げることで文字化されるが、誤答の場合は表示なし。
中村委員	所見を「デジタル教科書では」「AIによる発音チェック」と加筆してはどうか。
委員長	基礎資料の評価の確認する。異論はないか。 ないので、文言修正だけとする。 外国語については答申決議まで行うが、所見の文言修正は、後日になるため、委員長に一任とさせていただくでよろしいか。
○道徳	
土田委員	共通2ウは、各社とも日常場面がある。日本文教出版は、全ての教材に朗読音声やワークシートがあったり、思考ツールの活用がしやすかったりするため◎である。観点3は、東京書籍、教育出版、光村図書、日本文教出版、学研、あかつき教育図書は、大きくりの期間で振り返りがあるため◎である。観点4は、東京書籍は、デジタル心情円がある。光村図書は、様々な立場から考える場面や、具体の例示がある。日本文教出版は、思考ツールや付箋などの方法も示してある。学研は、視覚化し、考えを出しやすくしている。以上の点から◎とする。
委員長	道徳の教科書の基礎資料について、ご意見を頂戴したい。
野口委員	デジタルコンテンツの思考ツールがよいから◎か。 観点4は◎が多いが、そのなかでのポイントは何か。
土田主事	4ウについては、各社、関連の資料につながるものとなっている。振り返りだが、道徳性は、1時間だけでを養うものでなく、積み重ねが大切。学期ごとの振り返りで生き方をより深めることができるものであるため、その点を評価し、多くを◎とした。
委員長	思考ツールを含めて道具として、多様な道具が評価されたということですね。2つ目の記録用紙があることは大前提で、振り返る点があることはあるが、振り返りをしやすいところがよいということですね。ここを文言修正しますか。QRのところはいらぬのかな。
野口委員	横並びに◎が並んだのは、特徴はないということか。 各社この観点に力を入れていたのか。
土田委員	各社ここは力を入れており。補充深化統合になっている。

	<p>野口委員 福岡スタンダードとして大切な観点は3と4ではないかな。</p> <p>中村委員 QR コードがないところはなぜついてないのかという視点で調査研究をされたのか。</p> <p>土田委員 研究会ではついているところが適切かという点で確認した。</p> <p>野口委員 QR コードがあることがいい、ないから悪いではなく、あった場合適切に配置がされているかを見ることとなっているのでは。</p> <p>委員長 「QR コード」「どの教材にも」のところの文言修正を検討したいと思う。 では、◎△の評価については認めていただけるか。 文言修正は委員長の確認に一任とさせていただくでよいか。 それでは答申の決議とさせていただく。</p> <p>(3) 中学校全教科 調査研究報告書(答申)案の審議</p> <p>岡村委員 美術の開隆堂にあるが、シートのデジタル化で情報処理能力が高まるものではないのでは。 社会の地理的分野のさらにスキルアップと基本的な能力を身に付けることが可能とあるがスキルアップと基本的な能力はあわないのでは?応用力の文言のほうがいいのでは。 数学の「情報ネットワーク」を「インターネット」にしてはどうか。</p> <p>委員長 美術はデジタル化されており、「タブレットを活用して、学習者が情報を整理しやすくなっている。」と文言修正するでよいか。 社会の地理的分野は基礎的基本的な技能を身に付けるという部分を地理的な技能に変更するでよいか。 数学の「情報ネットワーク」を「インターネット」に文言修正するでよいか。</p> <p>○国語 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○書写 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○社会 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○地図 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○数学 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○理科 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○音楽 評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認</p> <p>○美術</p>
--	---

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

○保健体育

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

○技術

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

○家庭

評価及び審議内容について、報告書の記載どおりと確認

委員長 説明があった答申案について、質問や意見はないか。
外国語と道徳については評価は認めていただき、文言については
委員長一任とする。

委員長 特になければ、この答申案を本委員会の答申とすることに賛成の
方は挙手をお願いします。

委員長 中学校の教科書については、この報告書をもって本委員会の正式
な答申として提出する。

(4) 一般図書 調査研究報告書（答申）案の審議

非公開

以上で本日の議事を終了する。